

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあいCDU・LPコート・被覆硫酸加里入り複合200-BDE90号
別名 ; 夏秋ナス・ピーマン一発40
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 耕種資材部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号 ; 03-6271-8285
FAX番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 ; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品のGHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	酸化性固体	: 区分に該当しない
	金属腐食性物質	: 区分に該当しない
	急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	: 分類できない
	急性毒性（吸入）	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	目に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
(単回ばく露)	発がん性	: 区分1A
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性	: 区分に該当しない

製品安全データシート

整理番号：jcam-6013
改定日：2023 年 9 月 21 日

	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	： 区分に該当しない
	誤えん有害性	： 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	： 分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	： 分類できない

GHS ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ

注意書き

- 【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護眼鏡、保護手袋を着用すること。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。
- 【救急処置】 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察／手当を受ける事。
眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを
着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- 【保管】 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 製品又は容器を廃棄する場合は、国及び地方自治体の規則に従うこと。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名：指定配合肥料

主成分		含有量※ 1) (%)	化学式	官報公示整理 番号 (化審法・安 衛法)	CAS No.
LP コート	尿素	40～45	(NH ₂) ₂ CO	2-1732	57-13-6
	樹脂組成物 ※2)	10 未満	—	—	—
重焼燐		20～25	—	—	—
硫酸カリウム		20～25	K ₂ SO ₄	1-454	7778-80-5

製品安全データシート

整理番号：jcam-6013
改定日：2023 年 9 月 21 日

CDU	10 未満	$ \begin{array}{c} \text{H} \\ \\ \text{C} \\ / \quad \backslash \\ \text{CH}_3\text{HC} \quad \text{CH}-\text{NHCONH}_2 \\ \quad \quad \\ \text{HN} \quad \quad \text{NH} \\ \backslash \quad / \\ \text{C} \\ \\ \text{O} \end{array} $	947	1129-42-6
ホワイトカーボン	10 未満	SiO ₂	—	112926-00-8
シリカヒューム	1 未満	SiO ₂	—	69012-64-2
クレー*3)	1 未満	SiO ₂	—	14808-60-7

※1) 含有量は代表的な分析値であり、若干の幅で変動する。

※2) ポリエチレン、ポリエチレン系樹脂、その他

※3) クレー：硫酸カリウム造粒時の添加材として使用、結晶質シリカを約 98% 含有

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

結晶質シリカ（クレーに含有） 約 0.4%

労働安全衛生規則第 577 条の 2 の規定に基づく、がん原生物質

結晶質シリカ（クレーに含有） 約 0.4%

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質

該当なし

4 応急措置

吸入した場合	: 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 水で洗い流す。
眼に入った場合	: 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。 2. 必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

適切な消火剤	: 多量の水
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特定の消火方法	: 本製品は不燃性であるが、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動が困難な時は、周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。排水溝へ流さない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 発散した粉じんを吸いこまないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
接触回避	: 可燃性物質との近接は避ける。
安全取扱注意事項	: 1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。 2. 容器は破損につながらないよう丁寧に扱う。
保管	
安全な保管条件	: 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。 2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。 3. 可燃性物質との近接は避ける。
安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度	: 設定なし。
許容濃度	: 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。 日本産業衛生学会勧告値（2020 年）第 2 種粉塵 吸入性粉塵 1 mg/m ³ 総粉塵 4 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム手袋
目の保護具	: ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具	: 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体
色	: 灰白色
臭い	: データなし

製品安全データシート

整理番号 : jcam-6013
改定日 : 2023 年 9 月 21 日

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
可燃性 : データなし
pH : データなし
溶解度
溶解性 (水) : 可溶
(その他の溶媒) : エタノールに難溶
蒸気圧 : データなし
密度 : データなし
粒子特性 : 粒径範囲 1~4mm
その他のデータ
かさ比重 : 約 1.0

1 0 安定性及び反応性

反応性 : データなし
化学的安定性 : 通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性 : データなし
避けるべき条件 : 高温、多湿
混触危険物質 : データなし
危険有害な分解生成物 : データなし

1 1 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。
<尿素>
ラット LD₅₀ ♂14,300mg/kg ♀15,000mg/kg
マウス LD₅₀ ♂11,500mg/kg ♀13,000mg/kg
以上のデータに基づき、区分に該当しないとした。

急性毒性 (経皮) : 分類できない データなし
急性毒性 (吸入) : 分類できない データなし
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。
<尿素>
ヒトの試験では 7.5% で Slight irritation、30% で moderate との報告がある(48 時間)。
ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。
ウサギの試験では刺激性は認められていない。
上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.4 の判定基準 (皮膚刺激性の区分) を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 分類できない
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。
<尿素>

呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性

ICSC では眼に対し発赤と記載されている。
ウサギの試験では刺激性は認められていない。
上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019 の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
:分類できない データなし
:分類できない データなし
:区分に該当しない

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<結晶質シリカ>

in vivo 変異原性のマウスの骨髄小核試験が陰性であったことから、区分に該当しないとした。
なお、OECD ガイドラインにはない特殊な in vivo 試験系（気管内投与されたラットの肺上皮細胞における hprt 変異の測定）において突然変異陽性を示す（炎症作用による可能性あり）など、「試験結果が相反しており、遺伝毒性の評価はまだ確定していない」とされている。また、in vitro 変異原性においては、Ames 試験のデータはなく、染色体異常試験で陰性、小核試験で陽性の知見がある。ただし、この含有量は 1%未満のため区分に該当しないとした。

発がん性

:区分 1A

構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<結晶質シリカ>

ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質の粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、1997 年に「グループ 1」に分類し、2012 年の再評価でも分類結果を変更していない（IARC 68 (1997)、IARC 100C (2012)）。他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が結晶質シリカに対して、「第 1 群」に（産衛学会勧告 (2015)）、ACGIH が 2004 年以降、本物質に対し「A2」に（ACGIH (7th, 2006)）、NTP が 1991 年以降、結晶質シリカ（吸入性粒子径）に対して、「K」に分類している（NTP RoC (13th, 2014)）。よって、本項は区分 1A とした。

生殖毒性
特定標的臓器毒性

:分類できない データなし
:区分に該当しない

（単回ばく露）

構成成分である下記物質について次のような有害性情報がある。

<シリカヒューム>

本物質は気道刺激性があるとの報告（ACGIH (7th, 2001)、ECETOC JACC (2006)）から、区分 3（気道刺激性）とした。

上記構成成分が区分 3 であり、成分濃度が 20%以下

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	であることから、区分に該当しないとした。 <結晶質シリカ> データ不足のため分類できない。 なお、旧分類のヒトにおける呼吸器影響 のデータは短期ばく露であり、単回急性 影響のデータではない。
	: 区分に該当しない 構成成分である下記物質について次のような有害 性情報がある。 <シリカヒューム> ヒトにおいて、慢性あるいは反復の吸入ばく露に より珪肺症と同様なレントゲン所見を伴った金 属ヒューム熱のような回帰性熱を起こす。しか し、肺の変化は自然に回復することが報告されて いる (ACGIH (7th, 2001))。 実験動物において、ラット、モルモット、サルに 15 mg/m ³ (0.015 mg/L) を 12~18 ヶ月間吸入ば く露した試験で、いずれの動物種においても肺の 単核細胞の集合体の増加、細網線維がみられ、さ らにサルでは膠原線維がみられている (DFGOT vol. 2 (1991))。以上のようにヒトにおいて呼吸器 への影響がみられ、また、実験動物、特にサルに おいて区分 1 の範囲で肺に膠原線維がみられて いる。 構成成分が成分濃度 1.0%未満であることから、 区分に該当しないとした。 <結晶質シリカ> Priority 1 文書に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓 に影響を及ぼすとの記述がある。ただし、この含 有量 1%未満のため区分に該当しないとした。
誤えん有害性	: 分類できない データなし

1.2 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性短期 (急性)	: 分類できない データなし
水生環境有害性長期 (慢性)	: 分類できない データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳 しくは最寄りの JA にお問い合わせ下さい。
オゾン層への有害性	: データなし

[ポリエチレン (合成高分子)]

海洋環境有害性 : HME に該当する

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1 4 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 該当なし
品名	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
容器等級	: 該当なし
IMDG（国際海上危険物規則）	: 該当なし
ICAO-TI（国際民間航空機関技術指針）	: 該当なし
／IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）	
国内規制	: 下記の法令に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、湾則法
輸送の特定の安全対策及び条件	: 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1 5 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	: 指定配合肥料
消防法	: 該当しない
労働安全衛生法	
法第 57 条	: 表示対象物質（結晶質シリカ）
安衛則第 577 条の 2	: がん原生物質（結晶質シリカ）
粉じん則	: 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。 粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
湾則法	: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない

1 6 その他の情報

- 1) 本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の手扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをさ

製品安全データシート

整理番号 : jcam-6013
改定日 : 2023 年 9 月 21 日

れる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

3)当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

4)本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。

- ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
- ・当社原料メーカーから入手した原料 SDS
- ・JISZ7252:2019「GHS に基づく化学品の分類方法」
- ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名	；ジェイカムアグリ株式会社
連絡先	；生産管理本部
住所	；東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号	；03-5297-8904
F A X 番号	；03-5297-8908
緊急連絡先	；水俣工場
電話番号	；0966-63-2235